



平成23年11月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成23年7月14日

上場会社名 株式会社キャンドウ 上場取引所 東
 コード番号 2698 URL <http://www.cando-web.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 城戸 一弥
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部 (氏名) 古山 利之 経理財務部 部長 TEL (03) 5944-3765
 四半期報告書提出予定日 平成23年7月14日 配当支払開始予定日 平成23年8月25日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 ・ 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ・ 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年11月期第2四半期の連結業績 (平成22年12月1日～平成23年5月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年11月期第2四半期	32,078	0.8	1,152	102.8	1,180	80.3	293	38.0
22年11月期第2四半期	31,814	△1.6	568	△1.0	654	5.6	212	26.1

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年11月期第2四半期	1,779	24	—	—
22年11月期第2四半期	1,359	45	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
23年11月期第2四半期	23,348		9,115		39.0		55,341	65
22年11月期	23,213		8,904		38.4		54,061	57

(参考) 自己資本 23年11月期第2四半期 9,115百万円 22年11月期 8,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
22年11月期	—	—	500	00	—	—	500	00	1,000	00
23年11月期	—	—	500	00	—	—	—	—	—	—
23年11月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	500	00	1,000	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有 ・ 無

3. 平成23年11月期の連結業績予想（平成22年12月1日～平成23年11月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	62,819	0.7	1,569	57.2	1,642	50.5	416	42.9	2,526	28

（注）当四半期における業績予想の修正有無：有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：有・無

新規 一社（社名） 除外 一社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有・無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有・無

② ①以外の変更：有・無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年11月期 2Q	167,702株	22年11月期	167,702株
② 期末自己株式数	2,993株	22年11月期	2,993株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	164,709株	22年11月期 2Q	156,209株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は、概ね終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年12月1日～平成23年5月31日）におけるわが国経済は、新興国を中心とした世界経済の回復と政府の景気対策の効果等により、景気を持ち直しが見られたものの、昨年夏から続く円高基調と厳しい雇用情勢により依然として厳しい状況で推移いたしました。加えて、平成23年3月11日に発生した東日本大震災とその後の福島第一原子力発電所の事故の影響により、更に深刻な状況となっております。

小売業界におきましては、雇用者所得の伸び悩みによる消費の低迷が依然として続いておりますが、お客様のニーズを的確に捉える企業の支持率が高まる状況でもあります。

このような状況の中、引き続きお客様の支持を得られる商品開発に努めるとともに、品質の向上を図ってまいりました。また、店舗におきましては、地域特性を生かし再来店いただけるような接客の強化を図ってまいりました。

なお、店舗数の推移は当第2四半期連結累計期間におきまして、出店14店舗、退店47店舗となり、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は810店舗となりました。

前期より回復の兆しが見えておりました既存店舗につきましては堅調に推移し、東日本大震災後の日用品の需要増加、節約志向の高まりとあいまって、当第2四半期連結累計期間の既存直営店売上高前年比は100.9%で推移しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高320億78百万円（前年同期比100.8%）となり、営業利益11億52百万円（前年同期比202.8%）、経常利益11億80百万円（前年同期比180.3%）、四半期純利益2億93百万円（前年同期比138.0%）となりました。

売上高の構成は、直営店売上高283億円（構成比率88.2%、前年同期比100.9%）、F C店売上高36億32百万円（構成比率11.3%、前年同期比99.3%）、その他売上高1億46百万円（構成比率0.5%、前年同期比136.4%）であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の連結財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は1億34百万円増加し233億48百万円、また負債は76百万円減少し142億32百万円となりました。純資産は前連結会計年度末と比較して2億10百万円増加し91億15百万円となり、自己資本比率は39.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により16億20百万円増加、投資活動により2億98百万円減少、財務活動により5億27百万円減少し、期末残高34億円と前連結会計年度末比7億90百万円増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は16億20百万円（前年同期は9億76百万円の増加）となりました。

主な内訳は、税金等調整前四半期純利益7億39百万円に対して、たな卸資産の減少6億24百万円が加算項目。仕入債務の減少4億42百万円が減算項目となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は2億98百万円（前年同期は7億95百万円の減少）となりました。

主な内訳は、敷金保証金の返還による収入1億11百万円、新規出店及び既存店改装による有形固定資産の取得支出2億48百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は5億27百万円（前年同期は8億27百万円の増加）となりました。

主な内訳は、長期借入金の返済による支出4億54百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向並びに今後の見通し等を勘案し、平成22年11月期の決算短信で公表しました平成23年11月期（平成22年12月1日～平成23年11月30日）の通期連結業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、平成23年7月13日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第2四半期連結累計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は、それぞれ62,174千円減少、税金等調整前四半期純利益は、254,614千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は628,309千円であります。

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,405,750	2,615,032
受取手形及び売掛金	360,427	387,331
商品	5,937,505	6,562,500
未収入金	1,838,647	1,824,271
その他	1,270,587	455,847
貸倒引当金	△18,772	△18,848
流動資産合計	12,794,145	11,826,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,279,177	3,068,973
その他（純額）	1,734,633	1,904,124
有形固定資産合計	5,013,811	4,973,097
無形固定資産	87,863	103,575
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,499,322	4,609,828
その他	1,023,894	1,822,314
貸倒引当金	△44,864	△121,402
投資損失引当金	△26,000	—
投資その他の資産合計	5,452,352	6,310,740
固定資産合計	10,554,027	11,387,413
資産合計	23,348,172	23,213,548
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,691,986	8,136,164
1年内返済予定の長期借入金	909,600	909,600
未払法人税等	597,662	483,252
資産除去債務	10,722	—
その他	2,205,499	1,416,200
流動負債合計	11,415,470	10,945,217
固定負債		
長期借入金	787,000	1,241,800
退職給付引当金	541,929	423,780
資産除去債務	600,712	—
負ののれん	609,377	628,420
その他	278,412	1,069,902
固定負債合計	2,817,433	3,363,904
負債合計	14,232,903	14,309,122

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,028,304	3,028,304
資本剰余金	3,065,674	3,065,674
利益剰余金	3,323,084	3,112,382
自己株式	△277,017	△277,017
株主資本合計	9,140,045	8,929,343
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,674	△2,431
為替換算調整勘定	△22,102	△22,485
評価・換算差額等合計	△24,777	△24,917
純資産合計	9,115,268	8,904,426
負債純資産合計	23,348,172	23,213,548

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)
売上高	31,814,138	32,078,827
売上原価	20,303,651	20,388,874
売上総利益	11,510,487	11,689,953
販売費及び一般管理費	10,942,140	10,537,582
営業利益	568,346	1,152,371
営業外収益		
受取事務手数料	37,661	38,847
デリバティブ評価益	22,926	2,112
負ののれん償却額	28,770	19,043
その他	17,806	9,991
営業外収益合計	107,166	69,993
営業外費用		
支払利息	16,884	18,679
為替差損	—	13,256
雑損失	3,979	9,794
営業外費用合計	20,863	41,730
経常利益	654,649	1,180,634
特別利益		
受取補償金	72,011	63,092
貸倒引当金戻入額	—	16,628
その他	—	177
特別利益合計	72,011	79,898
特別損失		
固定資産除却損	71,510	111,912
減損損失	64,268	80,811
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	250,277
災害による損失	—	50,472
その他	1,392	27,446
特別損失合計	137,171	520,921
税金等調整前四半期純利益	589,489	739,611
法人税等	377,131	446,555
少数株主損益調整前四半期純利益	—	293,056
四半期純利益	212,357	293,056

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	589,489	739,611
減価償却費	380,159	427,469
減損損失	64,268	80,811
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	250,277
負ののれん償却額	△28,770	△19,043
長期前払費用償却額	17,381	18,727
貸倒引当金の増減額(△は減少)	111,723	△76,614
退職給付引当金の増減額(△は減少)	43,767	118,148
受取利息及び受取配当金	△1,522	△1,335
支払利息	16,884	18,679
デリバティブ評価損益(△は益)	△22,926	△2,112
為替差損益(△は益)	△3,194	3,389
固定資産除却損	41,279	83,304
固定資産売却損益(△は益)	—	△177
長期前払費用償却額(特別損失)	1,392	1,446
売上債権の増減額(△は増加)	3,750	26,904
たな卸資産の増減額(△は増加)	314,696	624,473
仕入債務の増減額(△は減少)	△375,920	△442,993
未収入金の増減額(△は増加)	136,166	42,265
未払金の増減額(△は減少)	△38,869	25,052
その他の資産の増減額(△は増加)	△25,371	125,957
その他の負債の増減額(△は減少)	△65,869	17,684
小計	1,158,515	2,061,927
利息及び配当金の受取額	201	311
利息の支払額	△8,840	△7,696
法人税等の還付額	1,090	52
法人税等の支払額	△174,833	△433,677
営業活動によるキャッシュ・フロー	976,132	1,620,916
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△658,632	△248,124
無形固定資産の取得による支出	△28,403	△951
資産除去債務の履行による支出	—	△57,206
貸付けによる支出	△2,000	—
貸付金の回収による収入	3,778	996
長期前払費用の取得による支出	△11,911	△20,314
出資金の払込による支出	△1,089	—
敷金及び保証金の差入による支出	△201,983	△84,838
敷金及び保証金の回収による収入	104,819	111,870
投資活動によるキャッシュ・フロー	△795,423	△298,569

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△800,000	—
長期借入れによる収入	2,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△232,000	△454,800
リース債務の返済による支出	△61,743	—
配当金の支払額	△78,756	△72,503
財務活動によるキャッシュ・フロー	827,499	△527,303
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,367	△4,328
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,014,576	790,714
現金及び現金同等物の期首残高	867,712	2,609,966
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,882,289	3,400,681

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年5月31日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成21年12月1日至平成22年5月31日)

当社及び連結子会社の事業は、日用雑貨及び加工食品の小売店舗チェーン展開を主たる目的とした単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年5月31日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成21年12月1日至平成22年5月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年5月31日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成21年12月1日至平成22年5月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。